授業科目	＊初年次セミナーⅡ(A クラス)					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	角谷　尚久						
授業概要	大学は、学生自らが目的をもって主体的に学ぶ場であり、基礎的な知識の上に、着想力、論理性、表現力、独創性などの力が求められる。これらの力を獲得するためには、ただ単に基礎的な知識を効率よく覚えるということではなく、自らが積極的に課題を探求し、自ら学びの質を高める姿勢をもたなけらばならない。 初年次セミナーⅡでは、初年次セミナーⅠの学びを基礎として、個人あるいはグループでの学習活動を軸に、大学で学ぶためのスタディ・スキルズ『発表する』『討論する』を強化し、より一層、主体的かつ能動的学習を展開する。『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』の強化ならびに定着を図り、さらにプレゼンテーションに発展させる。また、グループ内での討論を通して、物事を多面的・多角的に捉えて思考する力を身につけ、それらの考えを相手に伝える力を身につける。						
授業形態	合同講義			授業方法	対面		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	１．主体的に学ぶためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』をさらに鍛錬・強化し、『発表する』『討論する』に展開できる。（ＤＰ１－１） ２．グループ内での人的交流を通して、自己および他者を理解することができる。（ＤＰ３－１） ３．他者の考えと自分の考えを比較し、物事を多面的、多角的に捉えることができる。（ＤＰ３－１） ４．グループ学習において、自らの役割を自覚し、責任をもって協同行動ができる。（ＤＰ３－１） ５．自らの行動変容の必要性に気づき、修正へと繋げることができる。（ＤＰ４－１） ６．学習成果を相手に分かりやすく伝えることができる。（ＤＰ5-1） 学生が達成すべき行動目標を達成することができる。
理想的レベル	学生が達成すべき行動目標を達成することができ、主体的に課題を探求し、積極的に提案・行動する姿勢がみられる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト	10%	
レポート	55%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	35%	
レポート外の提出物		
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	T010202J

学習課題（予習・復習）	１回の学習目安（時間）

該当授業の復習	1

授業計画	
第 1 回	初年次セミナーⅠから初年次セミナーⅡに向けて
第 2 回	研究倫理　　（研究倫理委員）
第 3 回	テーマ：基本スキル編１ レポート・論文の構成を学ぶ。
第 4 回	テーマ：基本スキル編２ 読解力・要約力を学ぶ。
第 5 回	テーマ：基本スキル編３ 批判的思考力、表現力を学ぶ。
第 6 回	基礎スキル編（書く力）1
第 7 回	基礎スキル編（書く力）2
第 8 回	基礎スキル編（書く力）3
第 9 回	スキルアップ編（1）
第 10 回	スキルアップ編（2） 論文・レポート提出
第 11 回	スキルアップ編（3）
第 12 回	グループワーク（理解を深める。新聞を活用したプレゼンテーション）1
第 13 回	グループワーク（理解を深める。新聞を活用したプレゼンテーション）2
第 14 回	プレゼンテーション（外部講師）
第 15 回	纏め
テキスト	四月に担当者が伝えます。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「新聞（朝日、読売等)をできれば、読み比べてみましょう 。キャンパスで利用できる図書館のデータベースの利用の仕方に慣れるように使ってみます。図書館には本、雑誌以外にいろいろなモノ、サービスがあります。それを活用できるようにしましょう。
課題に対するフィードバックの方法	正確な日本語が読める、書ける、論理的な話ができるように毎日取り組んでいくことが評価の対象になります。
学生へのメッセージ・コメント	初年次セミナーⅠで学んだことを復習しておく。 新聞・雑誌、書物等を読み、先ずは母語である日本語の理解と表現方法を深めておくことが第一歩になります。

＊初年次セミナーⅡ(A クラス)